

Ⅲ 新型コロナウイルス感染症による家計への影響（二人以上の世帯）

1 消費支出に与えた影響

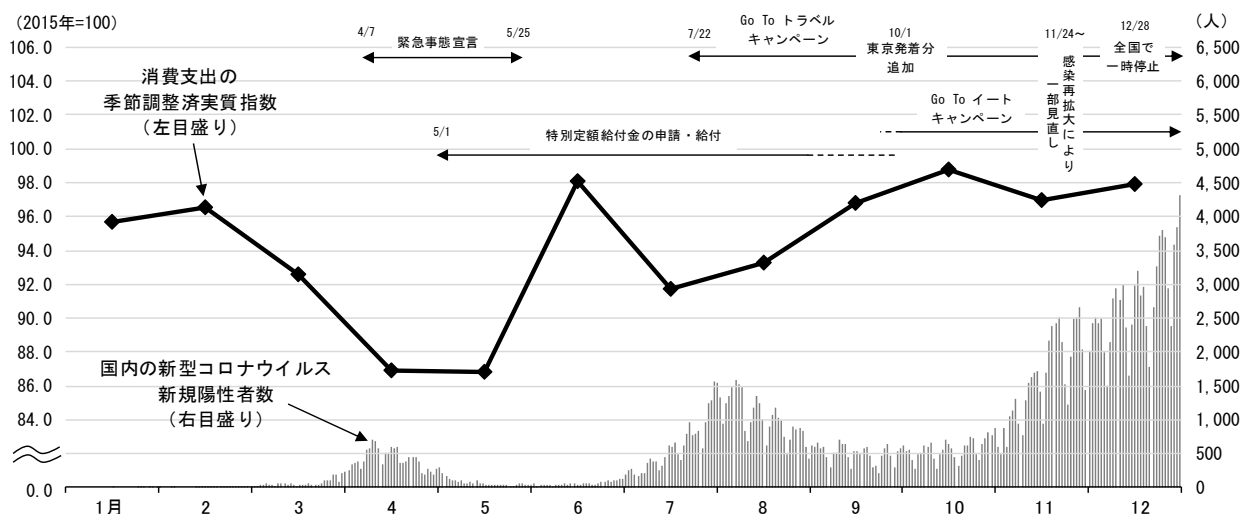
2020年の消費支出は新型コロナウイルス感染症の影響などにより、前年に比べ実質5.3%の減少と、比較可能な2001年以降最低となった。外出自粛や在宅勤務、店舗への休業要請や営業時間短縮要請により、食事代、交通関係費、旅行関係費などが大きく減少した一方、巣ごもり需要による内食の材料や家電の支出増加、感染予防への意識の高まりによる衛生用品などの支出増加など、品目ごとに特徴的な動きが多くみられた。これらの影響がみられた主な品目については、本章末尾の参考表「新型コロナウイルス感染症により消費行動に大きな影響がみられた主な品目など（二人以上の世帯）－2020年－」のとおりとなっている。

なお、前年5月の10連休の反動減、7月の長梅雨による天候不順、9月及び10月の前年の消費税率引上げに伴う駆け込み需要とその反動減の影響など、新型コロナウイルス感染症以外の要因による増減が含まれる月もあった。

消費支出の月次推移を季節調整済実質指数で見ると、感染拡大による外出自粛や営業時間短縮などにより消費が落ち込んだ時期もあったが、感染者数が減り、店舗の営業再開や景気刺激策が実施されたことにより持ち直す動きもあった。

(図Ⅲ－1－1)

図Ⅲ－1－1 消費支出の季節調整済実質指数（二人以上の世帯）
及び国内の新型コロナウイルス新規陽性者数の推移 －2020年－



「国内の新型コロナウイルス新規陽性者数」の出典：厚生労働省 (<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>)

消費支出	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
季節調整済実質指数	95.7	96.5	92.6	86.9	86.8	98.1	91.7	93.3	96.8	98.8	97.0	97.9
(参考) 季節調整済実質指数対前月比 (%)	-1.6	0.8	-4.0	-6.2	-0.1	13.0	-6.5	1.7	3.8	2.1	-1.8	0.9
(参考) 対前年同月実質増減率 (%)	-3.9	-0.3	-6.0	-11.1	-16.2	-1.2	-7.6	-6.9	-10.2	1.9	1.1	-0.6

<参考5> 新型コロナウイルス感染症に伴う主な動き^注

2月

- ・スポーツ、文化イベント等の中止、延期又は規模縮小などの対応を要請（26日）
- ・全国全ての小中高校等に対し、3月2日から春休みまでの臨時休校を要請（28日）

3月

- ・感染拡大防止のため、東京都が週末の外出自粛を要請（25日）（後に他県も外出自粛や東京との往来自粛を要請）

4月

- ・緊急事態宣言を発出（7日に7都府県、16日に全国に拡大）。都道府県をまたぐ移動やイベント開催の自粛要請なども含む

5月

- ・特別定額給付金の申請受付を開始（1日）（自治体により開始日が前後）
- ・緊急事態宣言を順次解除（14日39県、21日近畿3府県、25日全面解除）

6月

- ・緊急事態宣言に伴い要請していた都道府県をまたぐ移動の自粛要請を全面解除（19日）

7月

- ・イベント開催制限の上限を収容人数5,000人までに緩和（10日）
- ・各地で感染が再拡大し、自治体で独自に警戒レベルの引上げや営業時間の短縮要請などを実施
- ・東京発着を除いて、「Go To トラベル」が開始（22日）

8月

- ・全国知事会がお盆時期の帰省について慎重に判断するよう要請（8日）

9月

- ・「Go To トラベル」において、10月1日以降の東京発着旅行商品の販売が開始（18日）
- ・イベント開催制限の上限を収容人数の50%まで緩和（19日）

10月

- ・「Go To トラベル」において、東京発着分が対象になる。また、地域共通クーポンが発行開始（1日）
- ・「Go To イート」において、飲食のオンライン予約に対するポイント付与が開始（1日）（食事券発行は自治体により開始日が前後）
- ・「Go To 商店街」で採択された事業が各地で順次開始（19日）
- ・「Go To イベント」が開始。イベント等のチケット代の割引又はクーポン若しくはポイントを付与（29日）

11月

- ・各地で感染が再拡大。札幌市、大阪市を3週間「Go To トラベル」の対象外とし、「Go To イート」のプレミアム付食事券の新規発行停止を要請するなど「Go To キャンペーン」を一部見直し（24日）。一部自治体において飲食店などへ営業時間短縮を要請
- ・政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会が感染者急増地域への往来自粛を提言（25日）
- ・「Go To イート」において、予算上限に達したため全てのオンライン予約サイトでポイント付与を終了（29日）

12月

- ・年末から、「Go To トラベル」を全国で一斉停止することを決定（名古屋市は14日から、広島市は16日から、東京都は18日からそれぞれ先行して停止）。同様に「Go To イベント」及び「Go To 商店街」を一時停止。また、「Go To イート」の食事券販売停止と利用自粛呼びかけを検討するよう都道府県知事に要請（16日）

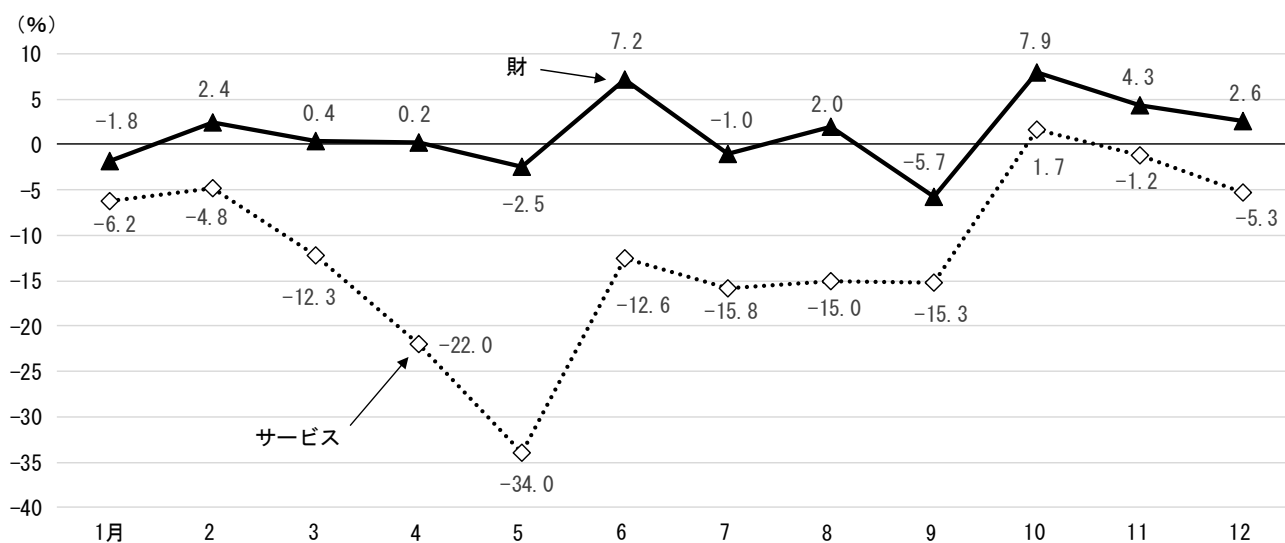
(注) 各種報道やキャンペーンサイト等の公開されている情報に基づき、総務省統計局にて作成

2 財・サービス区分別の消費支出の動き

消費支出の内訳を財・サービス区分別にみると、5月までの財の支出は緊急事態宣言下でもほぼ横ばいで推移しているものの、サービスの支出は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い徐々に減少幅が大きくなり、前年の10連休の反動減もあり、緊急事態宣言下の5月が最も減少幅が大きくなっている。緊急事態宣言解除後は、特別定額給付金が消費を後押しし、特に6月は財の支出が一時的に増加した。一方でサービスの支出は増加に転じなかったものの、減少幅が大きく縮小し、3月と同程度まで回復した。9月は前年が消費税率引上げに伴う駆け込み需要により消費が伸びていたため、その反動により、財の支出が減少に転じた。10月は前年が消費税率引上げに伴う駆け込み需要後の反動減により低い水準だったことや、「Go To トラベル」の東京発着分が対象に追加されたことなどで、財、サービス共に増加に転じた。11月以降は巣ごもり需要などにより財の支出は増加で推移した一方で、感染が再拡大し、飲食店の営業時間短縮要請や「Go To キャンペーン」の一部見直しなどが実施されたため、主に「飲酒代」や旅行関係費などの減少幅が拡大し、再びサービスは減少に転じた。

(図Ⅲ-2-1)

図Ⅲ-2-1 財・サービス区分別の対前年同月実質増減率の推移（二人以上の世帯） -2020年-



(注) 「こづかい」、「交際費」、「仕送り金」は、「財」、「サービス」いずれにも含まれない。

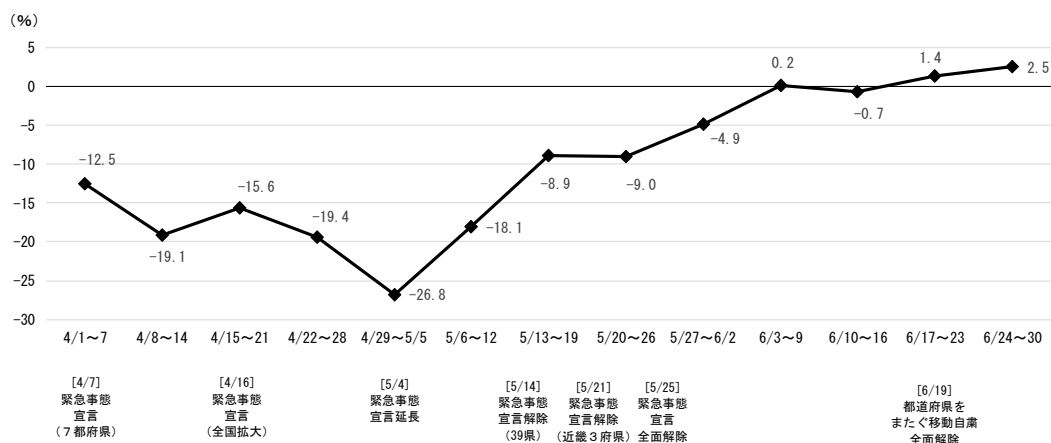
3 緊急事態宣言に伴う週別消費支出の動き

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い4月に発出された緊急事態宣言は、消費支出に極めて大きな影響を及ぼした。

4月から6月までにかけての週別消費支出の対前年同期実質増減率の推移をみると、緊急事態宣言が発出された4月7日の翌週から落ち込みが大きくなり、4月29日から5月5日までの期間は前年の10連休の反動もあり大きく落ち込んだ。これは、図Ⅲ-2-1で示したとおり外食や旅行関係費などのサービスが大きく寄与したことに加え、休業要請などの影響で「洋服」などの半耐久財も大きく減少したことなどによる。その後、5月中旬に緊急事態宣言が順次解除されると徐々に減少幅が縮小した。

(図Ⅲ-3-1, 表Ⅲ-3-1)

図Ⅲ-3-1 4月から6月までの週別消費支出^{注1}の対前年同期実質増減率^{注2}の推移(二人以上の世帯)
-2020年-



(注) 1 月極め払いなどが多い次の品目に加えて、「設備修繕・維持」や「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」(いずれも用途分類の金額)を除いているため、対前年同期実質増減率とは差異が生じる。

学校給食、家賃地代、火災・地震保険料、電気代、ガス代、上下水道料、家事代行料、清掃代、定期代(鉄道、バス)、有料道路料、年極・月極駐車場借料、保険料(自動車、自動車以外の輸送機器)、電話通信料(固定、携帯)、授業料等、補習教育、新聞、月謝類、放送受信料、インターネット接続料、保育費用

2 月をまたがる週の「対前年同期実質増減率」は、月ごとの日数比による消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いて実質化した。

表Ⅲ-3-1 4月及び5月における主な減少寄与費目(二人以上の世帯)

費目	2020年4月		2020年5月		寄与度合計 (4月, 5月)
	対前年同期 実質増減率	消費支出に 対する寄与度	対前年同期 実質増減率	消費支出に 対する寄与度	
服	-58.9	-0.81	-43.6	-0.66	-1.47
シャツ・セーター類	-68.0	-0.55	-41.4	-0.39	-0.94
履物類	-60.9	-0.34	-41.9	-0.23	-0.57
菓子類	-11.5	-0.27	-8.3	-0.20	-0.47
教養娯楽サービス	-53.0	-3.32	-63.6	-4.08	-7.40
外食	-65.7	-3.18	-59.9	-3.18	-6.36
交通	-73.0	-1.93	-68.5	-1.49	-3.42
保健医療サービス	-14.8	-0.36	-24.2	-0.58	-0.94
他交際費	-26.4	-1.02	-37.8	-1.40	-2.42

(注) 1 「洋服」には背広服、婦人用スラックスなどが含まれる。
2 「菓子類」には主に土産物として購入される生八つ橋などの他の和生菓子などが含まれる。
3 「教養娯楽サービス」には宿泊料、パック旅行費、映画・演劇等入場料、遊園地入場・乗物代などが含まれる。
4 「交通」には鉄道運賃、航空運賃などが含まれる。
5 「保健医療サービス」には医科診療代、歯科診療代などが含まれる。

4 特別定額給付金の支給と消費支出の回復

緊急事態宣言もあり4月及び5月に大きく落ち込んだ消費支出は6月に急回復し、季節調整済実質指数の対前月比で13.0%の増加となり、比較可能な2000年2月以降で最大の増加幅となった。一人一律10万円の特別定額給付金の支給に加え、外出自粛の緩和、店舗の営業再開とそれに合わせたセールの実施などで個人消費が刺激されたことが影響した。特別定額給付金は収入面では「特別収入」の大幅な増加に寄与し、支出面では特に巣ごもり需要と在宅勤務に後押しされた耐久財に現れており、「家庭用耐久財」や「教養娯楽用耐久財」などの支出が増加した。

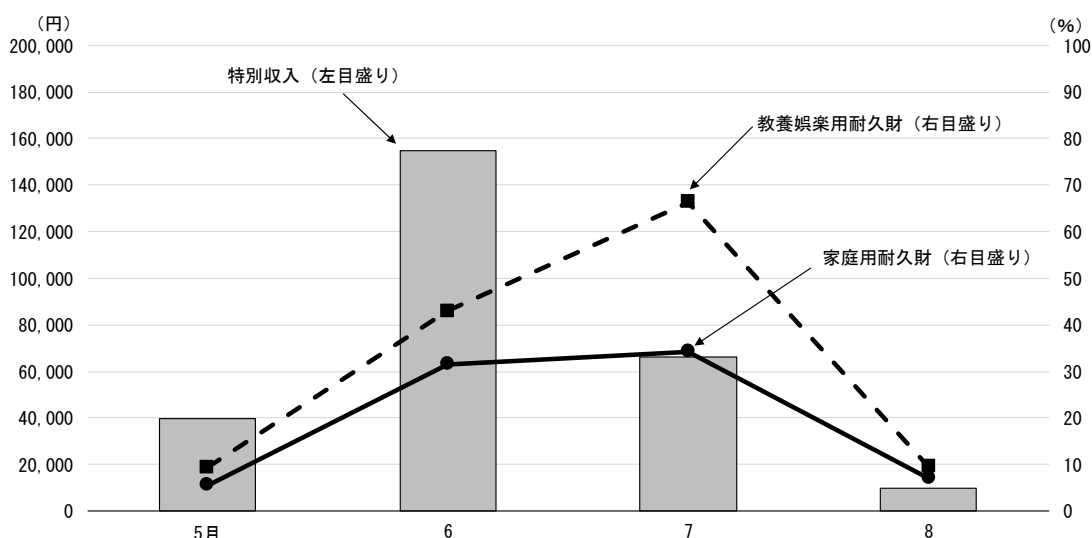
(表Ⅲ-4-1, 図Ⅲ-4-1, 表Ⅲ-4-2)

表Ⅲ-4-1 「実収入」の費目別対前年同月実質増減率（二人以上の世帯のうち勤労者世帯） -2020年-

項目	2020年												(%)
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
実収入	2.1	1.7	1.5	0.9	9.8	15.6	9.2	1.2	2.6	2.5	0.6	-1.3	
経常収入	2.1	1.6	1.4	0.9	2.9	-1.1	-0.2	0.5	1.7	1.7	0.1	-1.6	
世帯主の定期収入	0.4	-0.2	0.4	-0.4	0.1	-1.9	-0.8	-1.3	-1.3	-0.8	-1.6	-1.9	
特別収入	1.9	3.3	4.0	-2.8	417.3	1824.4	751.8	61.7	76.8	82.5	42.0	13.6	

(注) 特別定額給付金は、「特別収入」に含まれる。

図Ⅲ-4-1 「特別収入」の金額と「家庭用耐久財」及び「教養娯楽用耐久財」の対前年同月実質増減率の推移 -2020年-



(注) 「特別収入」については二人以上の世帯のうち勤労者世帯の結果、「家庭用耐久財」及び「教養娯楽用耐久財」については二人以上の世帯の結果によるもの

表Ⅲ-4-2 6月及び7月における「家庭用耐久財」及び「教養娯楽用耐久財」のうち主な増加寄与品目（二人以上の世帯）

品目	2020年6月		2020年7月		寄与度合計 (6月, 7月)
	対前年同月 実質増減率	消費支出に 対する寄与度	対前年同月 実質増減率	消費支出に 対する寄与度	
テレビ	83.1	0.17	44.8	0.09	0.26
電気洗濯機	50.3	0.09	72.1	0.13	0.22
電気冷蔵庫	2.1	0.01	73.4	0.17	0.18
テーブル・ソファ	111.6	0.11	5.5	0.01	0.12
炊事用電気器具	62.1	0.06	40.2	0.03	0.09
電気掃除機	4.5	0.00	86.8	0.05	0.05

5 「Go To キャンペーン」の影響

7月以降の消費支出には「Go To キャンペーン」の影響がみられる。

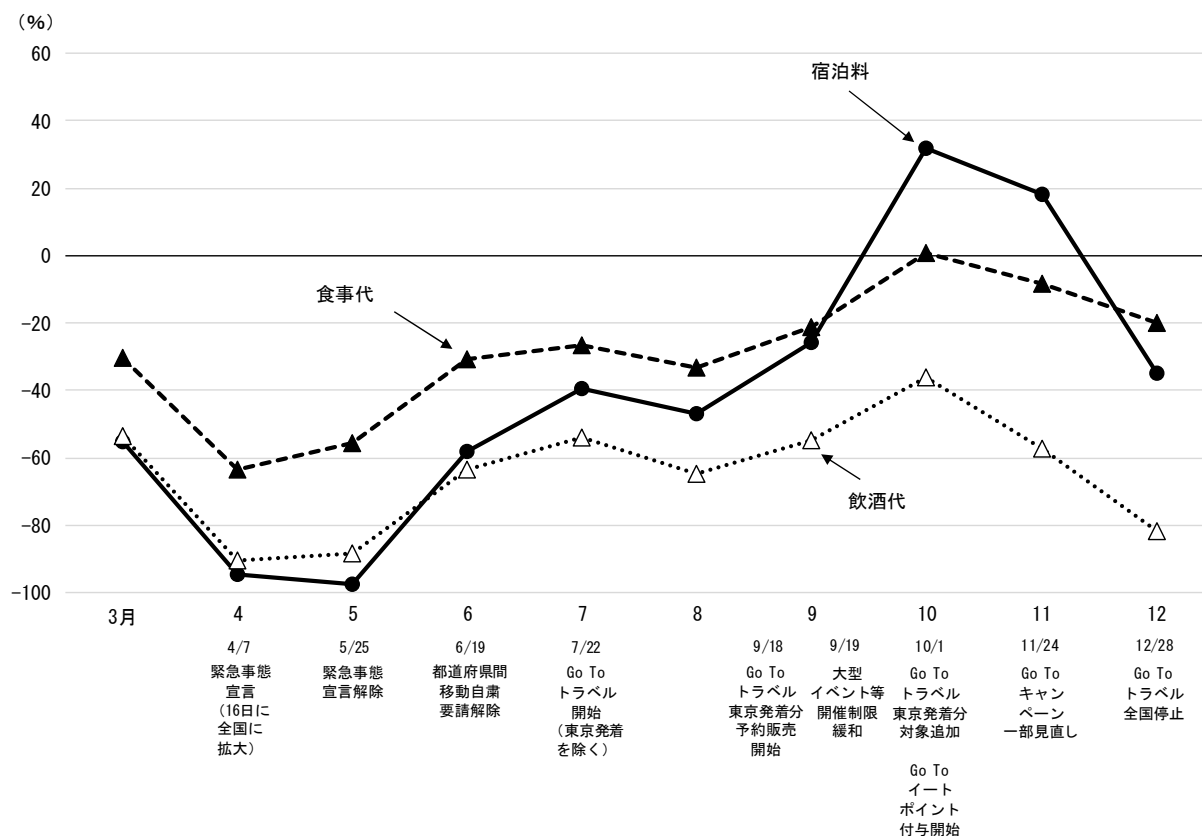
まず、7月22日に「Go To トラベル」が開始され、緊急事態宣言解除後、次の感染のピークとなった7月及び8月においても「宿泊料」は大きく減少しなかった。その後、10月1日に東京発着分が対象に追加されることとなり、その予約販売が開始された後は回復し、対前年同月実質増減率が10月に減少から増加に転じた。

さらに、10月1日に「Go To イート」が開始されると、緊急事態宣言解除後の6月以降も停滞していた「食事代」や「飲酒代」などの減少幅が縮小し、特に「食事代」は対前年同月実質増減率が10月に減少から増加に転じた。

しかし、11月に入ると感染が再拡大し、「Go To キャンペーン」も一部見直された。これを受け、11月以降は飲食代や旅行関係費などの減少幅が拡大した。中でも、営業時間短縮要請による影響も受けた「飲酒代」は、12月には実質81.8%の減少となり、緊急事態宣言下に次ぐ減少幅となった。

(図Ⅲ-5-1)

図Ⅲ-5-1 「宿泊料」、「食事代」及び「飲酒代」の対前年同月実質増減率の推移（二人以上の世帯）
—2020年—



2020年		(%)										
品目		3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
食	事	代	-30.3	-63.3	-55.8	-30.9	-26.7	-33.4	-21.3	0.7	-8.2	-19.9
飲	酒	代	-53.5	-90.3	-88.4	-63.6	-54.0	-64.7	-54.6	-36.3	-57.4	-81.8
宿	泊	料	-55.4	-94.7	-97.6	-57.9	-39.3	-47.1	-25.7	31.8	18.4	-34.7

＜参考6＞ 新型コロナウイルス感染症により消費行動に大きな影響がみられた主な品目など
(二人以上の世帯)

新型コロナウイルス感染症による影響を品目ごとにみると、外出の機会が減ったことにより減少した品目もある一方で、巣ごもり需要や在宅勤務により支出が増加した品目もあったことが分かる。なお、9月及び10月においては前年の消費税率引上げに伴う駆け込み需要とその反動減の影響など、品目によっては新型コロナウイルス感染症以外の要因による影響がみられるものもあることに注意が必要である。

表 新型コロナウイルス感染症により消費行動に大きな影響がみられた主な品目など (二人以上の世帯)
-2020年-

品目	対前年(同月)実質増減率 (%)										
	2020年平均	3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食料											
パスタ	25.3	44.4	70.5	38.8	10.4	17.1	17.0	20.5	9.1	21.0	25.9
即席麺	19.3	30.6	43.3	31.0	13.2	28.1	18.7	16.9	11.0	13.4	23.2
生鮮肉	10.3	10.1	20.7	23.4	10.2	13.9	16.0	8.1	8.6	8.8	6.7
冷凍調理食品	15.9	22.2	19.0	16.0	21.8	14.9	21.6	16.3	7.2	18.9	32.7
チューハイ・カクテル	33.3	22.8	42.1	52.6	50.3	38.3	44.4	20.2	28.2	25.9	26.6
食事代	-25.4	-30.3	-63.3	-55.8	-30.9	-26.7	-33.4	-21.3	0.7	-8.2	-19.9
飲酒代	-53.9	-53.5	-90.3	-88.4	-63.6	-54.0	-64.7	-54.6	-36.3	-57.4	-81.8
家具・家事用品											
炊事用電気器具	13.3	23.5	40.0	19.8	62.1	40.2	-5.6	-45.6	19.6	46.0	13.6
電気洗濯機	8.9	-24.0	42.3	20.0	50.3	72.1	17.1	-43.5	33.8	84.4	-27.0
他の冷暖房用器具注1	23.0	-31.8	-7.7	47.9	101.3	-17.2	64.1	-41.7	132.6	17.5	56.7
他の家事用消耗品のその他注2	27.3	46.5	68.7	45.2	34.8	31.4	22.7	-12.5	24.2	23.2	12.0
被服及び履物											
背広服	-40.8	-18.3	-79.9	-64.7	-57.4	-66.6	-82.3	-47.6	6.4	-4.6	-27.6
保健医療											
保健用消耗品注3	79.3	17.8	123.9	179.5	105.4	140.9	146.9	42.3	106.7	76.3	49.6
交通・通信											
鉄道運賃	-60.9	-65.2	-89.9	-86.0	-69.7	-70.0	-79.0	-65.3	-37.1	-51.8	-66.1
バス代	-49.5	-46.0	-71.5	-75.9	-61.0	-57.9	-67.1	-53.7	-45.5	-44.9	-60.9
タクシー代	-43.3	-44.7	-69.8	-68.7	-52.1	-48.2	-43.6	-40.9	-19.4	-42.0	-48.5
航空運賃	-76.1	-84.7	-94.5	-77.1	-83.5	-86.9	-95.9	-68.2	-89.8	-82.2	-92.9
有料道路料	-47.9	-43.0	-57.5	-74.1	-68.1	-56.7	-52.0	-45.2	-36.3	-37.2	-50.7
ガソリン	-16.1	-18.4	-28.2	-30.9	-21.6	-17.1	-15.8	-18.9	-4.7	-8.7	-10.0
教養娯楽											
パソコン	30.7	-9.6	72.3	68.3	18.1	129.1	3.4	-35.4	62.5	16.3	-13.5
ゲーム機	53.7	165.8	68.2	25.0	-5.2	26.0	220.3	18.8	14.1	157.8	6.1
ゲームソフト等	47.7	157.0	102.8	108.6	59.5	40.3	79.5	3.8	10.5	24.9	30.1
宿泊料	-43.7	-55.4	-94.7	-97.6	-57.9	-39.3	-47.1	-25.7	31.8	18.4	-34.7
パック旅行費	-70.4	-83.2	-97.1	-95.4	-90.7	-89.1	-87.3	-61.4	-27.0	-55.1	-80.1
映画・演劇等入場料	-63.2	-69.6	-92.7	-96.7	-95.6	-85.2	-74.9	-65.8	-30.3	-51.6	-44.0
文化施設入場料	-55.4	-71.4	-95.6	-94.8	-47.8	-57.5	-60.6	-43.8	-28.9	-23.4	-58.7
遊園地入場・乗物代	-67.7	-86.8	-97.8	-96.2	-86.1	-71.1	-72.9	-52.8	-46.1	-39.3	-81.2
インターネット接続料	7.4	12.4	17.7	-9.4	13.4	4.8	12.1	7.2	11.7	19.3	6.3
その他の消費支出											
浴用・洗顔石けん	11.8	15.0	28.2	12.8	19.5	4.4	5.0	-21.9	30.9	24.9	12.6
ファンデーション	-24.7	-10.2	-34.8	-43.2	-17.3	-22.2	-40.8	-58.0	-17.3	-10.6	-12.9
口紅	-36.2	-22.2	-41.1	-67.3	-51.5	-40.8	-59.7	-56.6	-37.6	-38.4	-40.2

(注) 1 「他の冷暖房用器具」は、扇風機、空気清浄機、加湿器などを含む。

2 「他の家事用消耗品のその他」は、ウェットティッシュなどを含む。

3 「保健用消耗品」は、マスク、ガーゼなどを含む。